

第 16 回 運営推進会議議事録

令和 7 年 4 月 23 日作成

開催日 令和 7 年 4 月 23 日

時間 12:20 ~ 13:30

開催場所 リハビリデイサービスうるおす仙台事業所内

作成者 水野 のぞみ

参加者 計5名

- ・小松島地域包括支援センターよりS様
- ・高松町内会長のY・S様
- ・民生委員のM・T様
- ・うるおすご利用者のY・K様(要介護2)
- ・うるおす職員より管理者水野 のぞみ

会議主旨説明

リハビリデイサービスうるおす仙台では、平成28年4月より、小規模型デイサービスから地域密着型通所介護に移行致しました。システムの変更に伴い、事業所として運営推進会議を設ける事が義務付けられております。この度ご参加頂きました構成員の方々へ、弊社デイサービスとして、どのように運営しているのかを説明をさせていただきます。今後、地域に開かれたデイサービスを目指してまいりますので、この度は忌憚ないご意見を頂戴頂けますよう、お願い致します。

利用者状況 令和7 年 4 月現在

○利用者数 合計 64 名 男性 17 名 女性 47 名

○認定度内訳

事業対象者 3 名
要支援1 30 名
要支援2 14 名
要介護1 14 名
要介護2 3 名
要介護3 0 名
要介護4 0 名
要介護5 0 名

○平均年齢

性別内訳 男性 歳
女性 歳

○日別利用状況 定員数 10 名

月曜日	午前	10 名	午後	8 名
火曜日	午前	6 名	午後	8 名
水曜日	午前	8 名	午後	7 名
木曜日	午前	10 名	午後	10 名
金曜日	午前	9 名	午後	10 名
土曜日	休み		休み	
日曜日	休み		休み	

事業所概要

○ご利用対象者

介護保険の認定を受けている方が対象になります。事業対象者、要支援、要介護の方が利用対象となります。

○利用できる時間帯

午前	9 時～	12:10 迄	休日
午後	13:50 時～	17:00 迄	土、日曜日
			年末年始 お盆

○サービスの特徴

弊社デイサービスは、利用者様の運動不足解消と他者との交流の場を主体的に提供しております。特に、高齢になられる事で、身体的な問題から外出がする事が困難な方が多く見受けられます。弊社デイサービスを通して、定期的にご利用を頂き、機能訓練(運動)を意欲的に行っていただく事で、健康予防に繋がるサービスを提供させて頂いております。

○サービス内容(基本的な流れ)

午前時間	午後時間	
8:30～	13:15～	ご自宅訪問、事業所まで送迎
9:00～	13:45～	健康管理(血圧測定、問診)
9:30～	14:15～	集団体操
10:00～	14:45～	マシントレーニング
11:00～	15:45～	個別トレーニング
11:30～	16:15～	他者との交流時間(おやつ等交えて)
12:15～	17:00～	ご自宅まで送迎

○個別トレーニングとは

利用開始に合わせて、利用者個別に必要なトレーニング内容(機能訓練計画書)を定めます。下肢の筋力や歩行、上肢の動作などに不安をお持ちの方に、必要なトレーニングメニューを定め、運動を進めて頂きます。

職員状況

管理者	1 名	(資格	介護福祉士、介護支援専門員)
生活相談員	1 名	(資格	介護福祉士、介護支援専門員)
機能訓練指導員	7 名	(資格	柔道整復師)
介護職員	9 名	(資格	認知症介護基礎研修受講済み、柔道整復師、介護福祉士、介護支援専門員)
看護職員	0 名	(資格	)

苦情相談、事故件数(直近6ヶ月)

○苦情相談件数 1 件

寄せられた苦情相談内容

令和6年10月24日ご利用時の連絡帳に記載した職員のコメントについて、ご利用者様の娘様から連絡帳に返事を頂くという形で連絡を受けました。そのご利用者様は認知症を患っておりますが、身体能力は抜群で、明るく周囲を笑わせることが大好きな方でした。ただし、外出の機会が減っており、歩行距離が短くなっておりました。ご本人様からは、下肢を鍛えたい！というご要望がありましたので、毎回高難度の歩行訓練を行っておりました。

その訓練最中に、職員の運動指示とは違う、スキップや突然ターンしたり、しゃがみこむ、ジャンプをしたりと、まるでサーカスのショーのような動きをしてしまい、それを見ている他のご利用者様に「すごーい！よくできるね！」など賞賛を受けていました。もちろん、毎回訓練前や訓練中にも「転んでしまうと危険なので、職員の動きのとおりにしてください」と伝えるも、自由にラダー上を動き回っておりました。身体能力の高さから、転倒することはないだろうと思い、職員はすぐ隣につくものの脇を抱えるなどは行わず、楽しそうにされていたので見守る状態でした。

そのおどけた様子を連絡帳に職員が「今日も何度かふざけながら運動されていました」と書いてしまい、娘様よりお叱りの言葉を受けています。内容としましては、【認知症や介護の勉強をしているのか、深く傷ついた】というものでした。

その後の対応といたしましては、娘様へ電話で、水野と連絡帳へ書いてしまった職員が謝罪を行い、なぜそのような事を書いたのか、経緯を文章でもお渡ししております。また、運動内容としてはご本人様の希望もありそのまま高難度の歩行訓練は継続しているのですが、必ず脇を抱えるようにしています。時折、アドリブを入れた歩行をされますが脇を抱えられることにより自由に動けなくなり、窮屈そうにはされているものの転倒なく訓練を継続することができています。

今回の要因といたしましては、職員の接遇の悪さ、言葉の選び方による誤解を生んでしまったこと、配慮の欠如が挙げられます。娘様からの連絡直後に接遇マナーと、介護記録の書き方、認知症とそ
のご家族への対応の仕方について研修を行っております。デイでの状況を何も知らないご家族様
は、デイからの連絡帳を見ることで運動内容や様子を知ることができます。今回は状況を書かずに、
誤解を招くような言葉を選んでしまったことで、ご家族様を深く傷つけ不信感を抱かせてしまいまし
た。今後は、誰が見ても実施内容が分かるような記録を残せるように、デイで楽しんでいる様子が分
かるように心をこめて連絡帳を書いていきたいと思います。

○事故内容 0 件

今回は、ホール内や駐車場、ご利用者様宅から送迎車に乗り込むまで、転倒なく無事に移動して頂
くことができました。その他、異食や落下、感染症のまん延などもなく安全に過ごして頂くことが出来
ました。

運営推進会議に参加して下さった構成員の方々からのご質問・感想

・小松島地域包括支援センターS様より

- ・アンケートと分析の細かさにお褒めの言葉を頂く。
- ・ヒヤリハットもしっかりとっており、事故なく過ごせているようで利用者様をお願いしている身としては安心である。利用者様に向きあっている感じがする。
- ・デイが決まっていない方にうるおすを宣伝しているので、直接見に行ってくださいと伝えているので、そこから体験を繋げてほしい。
- ・地域との防災訓練を行ってほしいところだが、今は話し合いの拠点となっているコミュニティーセンターが工事しており、今年は小松島小学校での防災訓練は中止となっている。町内の防災訓練もないそうなので、どうにか情報を集めてBCPなどにも必要になってくることだと思うので、地域との関わり合いを大事にしてほしい。

・高松町内会長のY・S様より

- ・最近町内会長になったばかりで、分からないことが多いので色々と教えてほしい。デイサービスも入ったことがなかったので、どうゆう人たちが利用しているのか、自分で向かうのかわからなかった。
- ・逆流性食道炎になり、胃液が逆流しないように手術を受けた。誤嚥性肺炎についてはよくはわからないが、予防できることがわかった。
- ・今は町内単位で防災訓練はしていないが、町内の集まりに話や運動しにくることができるかと聞かれる。
- ・高松町内会からは何人ぐらいきているかと質問を受ける。

・うるおすご利用のY・Kより(要介護2)

- ・うるおすに来てから1年半が経ち、右足はまだ不自由だが、以前は杖歩行で100mしか歩けなかったが、今は1km歩けるようになった。訪問リハの人からは、うるおすに行ってから距離が伸びたと言われた。
- ・ここまで回復したから、次の認定は要支援かもしれない。
- ・誤嚥性肺炎の回復唾液嚥下テストでは、1回目は3回、口腔体操や唾液腺マッサージをした2回目は10回ぐらい飲み込めたので、効果をすごく感じる事が出来た。

・民生委員のM・T様より

- ・すてきな折り紙作品とお花ですねと利用者様の作品を誉めて頂く。
- ・コミュニティーセンターが工事中のため、高松の公民館で小さく集まっている。
- ・倉俣様のお話を聞き、ここまで回復されるのはすばらしい。姿勢もいいし、歩くのもなんとなくいいように見える。運動を続けることはすばらしいですね。私もやらなくてはいけないとは思っているもののなかなか動き出せない。
- ・また町内で集まりがある場合には連絡するとのこと。